



ハイソリッド型  
シリコンアクリル



二液



無鉛

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド  
放散等級

NTX

トルエン・キシレン  
を含んでいません

ATOMIX

# フロアトップ® ガラスコートTG

コンクリート床用

一回塗り仕上げ

高硬度・高光沢

ガラスコートTGは、シリコンアクリル樹脂系のハイソリッドクリアー塗料で、1コートで、車の傷防止に使われるガラスコートと比べて約30倍の膜厚が付き、耐傷付き性、耐汚染性、耐薬品性に優れ、高光沢の塗膜を長く維持します。

今までに  
ない輝きを  
ご提案

## 特長

### 1. 優れた耐久性を発揮

自動車や物流関連はじめ、重量物が搬送し耐久性が求められる各種工場や倉庫床に最適です。

### 2. 高硬度で傷が付きにくい

高い硬度(3H)があるため傷が付きにくく、塗膜を長期間維持します。

### 3. メンテナンス性が向上

汚れが付きにくく、消毒用アルコールの跡や油汚れも、簡単な拭き掃除でキレイにできます。

### 4. 高い光沢で職場を明るく

塗装後は照度が5~10%、輝度なら2~5倍それぞれアップします。

※照度は塗装面付近の明るさ。輝度は塗装面から光源の反射

## 用途

重量物を運搬するため耐久性が求められる工場や倉庫等の床

## 荷姿・塗り面積・標準色

### 【荷姿】フロアトップ ガラスコートTG

4kgセット：主剤3kg / 半缶、硬化剤1kg / 1.3L角缶  
(冬用シンナー：1.6kg / 2L角缶)

### 【塗り面積】

4kgセット	既存塗膜面(フロアトップアクア フォルティス)仕様 50~66㎡
--------	-------------------------------------

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

### 【施工温度と 可使時間】

施工温度	5℃	15℃	25℃	35℃
フロアトップガラスコートTG	40分	40分	30分	20分
フロアトップガラスコートTG (冬用シンナー3~10%添加)	30分	30分	不可	不可

※可使時間の過ぎた材料は使用しないでください。



施工例

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03216
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

消防法：  
主剤/第四類第四石油類・  
危険等級Ⅲ・火気厳禁  
硬化剤/第四類第二石油類・  
危険等級Ⅲ・火気厳禁

### 【標準色】 クリヤー



主剤

硬化剤

### 倉庫通路(フォークリフト通行6ヶ月後)



弊社溶剤型一液クリアー



ガラスコートTG

傷や汚れに強く、初期の美しさを長く保持します

### 工場床



施工前



施工後

※フロアトップアクアフォルティス  
#11 グリーンを塗布した上に施工

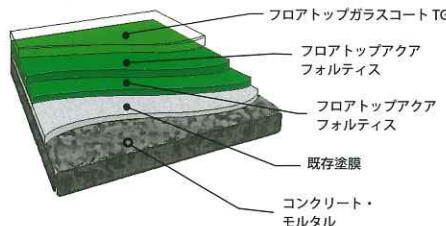
施工後、照度は約10%・輝度も5倍程アップ。職場が明るくなりました

アトミクス株式会社

# フロアトップ® ガラスコートTG

## 施工仕様例

既存塗膜面(フロアトップアクア フォルティス)仕様 ※コンクリート面への施工では、下塗り前にフロアトップアクアプライマー ハエレオを塗装してください。

工程	製品名	混合比	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)	既存塗膜面仕様 (AQ-UWS-I-TG) 
下地処理	フォルティス施工要領に準ずる					
下塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤:硬化剤:水 12:1.5:1.5	—	0.15	1以上	
下塗り②	フロアトップアクア フォルティス		—	0.15	3~24	
上塗り	フロアトップ ガラスコートTG	主剤:硬化剤 3:1	0~10 (冬用シンナー)	0.06~0.08	—	

※ 「学校環境衛生の基準」「厚生労働省指針」等の対応が必要な場合の仕様については当社までお問い合わせください。  
注 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書をご参照ください。

ガラスコートTG 適応下塗り材	フロアトップアクアフォルティス、エポ21 フロアトップ#7000、#8000、#8500、#8500速乾 エポワン	※下塗りにフォルティスを施工した場合、25℃未満のときは24時間以内に、25℃以上のときは8時間以内に、 ガラスコートTGを塗装してください。 ※下塗りにフロアトップ #8000 冬型またはエポワン冬型を施工した場合、ブラッシング(白化)を起こす可能性がある あるので、フロアトップアクアプライマー ハエレオを施工してからガラスコートTGを塗装してください。
--------------------	---	--

### お客様の声

- ・タイヤマークが落としやすく、清掃が楽になりました。
- ・自分たちの塗装で、明るくきれいな職場環境に変えられました。

## 注意事項

### 1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃未満の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。
- (4) 下地の状況や塗り方により、塗布量が増減します。

### 2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) フロアトップアクアフォルティスは、水を加えた硬化剤および主剤と硬化剤を混合した後は、炭酸ガスを発生しながら固まりますので、密栓しないでください。
- (3) フロアトップガラスコートTGは、空気中の水分と反応しますので、開缶後はできるだけ早く使い切ってください。
- (4) 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- (5) 二液型塗料の計量・混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (6) 可使時間を越えた材料の使用は物性を著しく低下させますので、使用しないでください。
- (7) 小分けする場合は、必ず小分けする前に十分に攪拌し、均一にしてから行ってください。
- (8) 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (9) 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (10) タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けてください。
- (11) ローラーは毛が抜けにくい中毛ローラーをご使用ください。

### 3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度の高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 塗装具の洗浄には合成シンナーNo.2をご使用ください。
- (3) 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。
- (4) 養生時間 歩行開放=8時間 重量物開放=24時間以上(気温23℃・湿度50%)

### 4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- (2) 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- (3) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、事前に当社までご相談ください。

### 5. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社までお問い合わせください。

## アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

■ 本社	〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL (03)3969-3111	FAX (03)3968-7300
■ 加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1154	FAX (0480)65-6909
■ 大阪支店	〒574-0053 大阪府大阪市東新田旭町2-22	TEL (072)872-3111	FAX (072)872-1222
■ 仙台営業所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL (022)249-7371	FAX (022)249-7372
■ 新潟営業所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル2F)	TEL (025)244-8011	FAX (025)244-8012
■ 横浜営業所	〒224-0033 横浜市中区茅ヶ崎東3-17-43	TEL (045)943-8911	FAX (045)943-8912
■ 名古屋営業所	〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル)	TEL (052)914-3900	FAX (052)916-0892
■ 広島営業所	〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL (082)845-2202	FAX (082)845-2203
■ 福岡営業所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL (092)503-5200	FAX (092)503-5308
■ 加須工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1159	FAX (0480)65-7146

<https://www.atomix.co.jp>

検索

